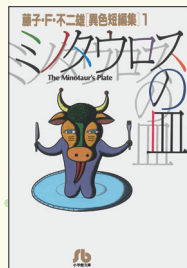


マンガの聖地としまの皆さん /

これも学習マンガだ! 大人も学べるマンガ入門

第2回

「これも学習マンガだ!」を主催する一般社団法人マンガナイトの連載です。



ジャンル: 科学・学習

『ミノタウロスの皿』

著者: 藤子・F・不二雄
出版社: 小学館



企画監修: 山内康裕
(マンガナイト代表・「これも学習マンガだ!」事務局長)
構成: 松尾奈々絵 (マンガナイト理事)

る作品です。

作中で主人公が「ズン類」に対して「言葉が通じるのに話が通じない」と言っているように、価値観が違う者同士が、心からお互いのことを理解し合うことは難しいもの。まして、主人公は地球(自分)の価値観が絶対で、イノックス星の価値観を受け入れていないようにも見えます。最後に「なぜ主人公がそうしたのか」には、様々な意見が集まるのではないでしょうか。

同短編集には他にも、息子夫婦・孫にじゃけんに扱われている老人が主人公の『じじぬき』、遊び人で家庭内暴力を働く小説家と従順な妻の話『コロリ転げた木の根っこ』など13の作品が収録されています。これまで子供向けの作品しか知らなかったという方も、大人になった今だからこそ楽しめる藤子・F・不二雄の世界を覗いてみてはいかがでしょうか。

『ドラえもん』や『オバケのQ太郎』『パーマン』など、子ども向けの作品で知られる藤子・F・不二雄先生。そんな先生が大人向けに描いた、決してハッピーエンドだけでは終わらない短編集です。表題作『ミノタウロスの皿』は、牛の見た目をした生物(ズン類)が支配するイノックス星が舞台。宇宙船の事故でイノックス星に不時着した地球人の少年は、少女・ミノアに惹かれて親しくなりますが、この星でミノアは人の見た目をした家畜。彼女は大祭の祝宴の

大皿「ミノタウロスの皿」に選ばれ、食べられることが決められているのでした。主人公は「逃げよう」と提案しますが、彼女は選ばれたことに誇りを持っていて断られます。イノックス星の「ズン類」を説得しようとしても止められず……。

自分が常識だと思っているものが本当に「正しい」のか。食事とは、残虐とは、家畜とは何なのか。もし、家畜が人間と会話できたらどうするべきなのかなど、自分の価値観について深く考えさせられ

これも学習マンガだ!

Manga Edutainment

Supported by 日本 THE NIPPON 彩画 FOUNDATION

「これも学習マンガだ!」は、新しい世界を発見できるマンガや学びにつながるマンガを選出・発表し、国内外の読者に作品を届ける事業です。マンガの持つ「楽しさ」「分かりやすさ」「共感力」に着目し、社会をより良いものにしていきます。

マンガナイト
<http://gakushumanga.jp/>

